

# 水質汚濁に関する研究

(39年度)

## 有機水銀剤のニジマスに対する毒性について

本 庄 鉄 夫

### 1. 目 的

有機水銀粉剤をニジマス飼育池に撒布し、その毒性を明らかにし、空中撒布防除法に対する指針を求める。

### 2. 試験の方法と結果

供試魚としてニジマス0年魚(平均体重20g)を使い、流水池3面にそれぞれ50尾ずつ放養した。水温は12°Cで、供試薬品はPMT+PMF(水銀含量0.3%)で撒布割合は第1表のとおりである。

第1表 経過時間と死亡尾数

試験区	10アール当り 撒布量	供試尾数	経過時間と死魚尾数		
			5時間	24時間	48時間
A	2 kg	50 尾	7 尾	24 尾	24 尾
B	3	50	10	31	41
C	10	50	33	47	48

撒布後C区は2時間で、A区は3時間で魚群の遊泳が乱れ、4時間後には各区共死亡魚が出現し初めた。死魚はいずれも貧血症状を呈した。第1表によりニジマスに対する有機水銀剤のTLM(48hrs)は2kg/10アールの主成分水銀で0.06 ppmとなる。